

新着情報 イチオシ!

M OVIE

『おばあちゃんが伝えたかったこと カンボジア・トゥノル・ロ村の物語』

ポル・ポト政権時代、カンボジア各地で行われた大虐殺。あの時、何が起こっていたのか。虐殺現場近くのトゥノル・ロ村の人々に密着取材したのが本ドキュメンタリー。「おばあちゃん、何があったの?」。村の小学生の男の子が虐殺を生き抜いた村人にその声を掛けると、彼らは自らの体験を語り、当時の出来事を身振り手振りで再演し始める。長い間、暗い記憶に苦しんでいた彼らの表情が、映画製作を通して明るくなっていくのが印象的だ。



2011年／カンボジア／54分
監督：エラ・ブリーセ、ヌ・ヴァ、トゥノル・ロ村の人々
公開：8月2日(土)よりユーロスペース(東京)他 全国順次公開
URL: thnolok.jp/
配給：コミュニティシネマセンター
TEL: 050-3535-1573

E VENT

『こども国際フェスタ2014』

世界を身近に感じてもらおうと、子どもたちを対象にした体験型イベントが東京・恵比寿で開催される。各国の大使館が出展するブースでは、伝統的な遊びや芸術などをワークショップ形式で体験でき、メインステージでは民族舞踊やファッションショーなどが開催される。7月下旬から先行プログラム(事前申込制)として、各国の大使館を訪問したり、留学生と交流したりするチャンスもある。楽しく異文化に触れる絶好の機会だ。

会期：9月7日(日) 11～17時
会場：恵比寿ガーデンプレイス
問：こども国際フェスタ実行委員会
TEL: 03-6417-9071
URL: somos-festa.com/

B OOK

『サッカーボールひとつで社会を変える スポーツを通じた社会開発の現場から』

毎年、世界各地で開催されている「ホームレス・ワールドカップ」。サッカーを通じて自分に自信をつけ、仲間の大切さを知り、ホームレス生活からの脱却を目指すイベントだ。このように、サッカーを通して社会を変えようという動きが増えている。南アフリカではHIV／エイズを患う人たちがサッカーを始めたことで、感染の予防に向けた啓発活動に取り組むなど、前向きに生きるようになったケースもある。サッカーボールが生み出す社会の可能性について考えてみよう。



この本を
1人の方に
プレゼント
詳細は
38ページへ

岡田千あき 著
大阪大学出版会
2,160円(税込)

B OOK

『あなたが救える命 世界の貧困を終わらせるために今すぐできること』

目の前で子どもが川で溺れている。新しい靴がダメになってしまっけどー。さて、あなたは子どもを助けますか? そう問い掛けるのは哲学者の著者だ。先進国で豊かな生活を送る人々は、倫理的に開発途上国で飢餓に苦しむ人々を救う義務がある。本書では、なぜ私たちはそう頭で分かっているのに、実際には寄付しない人が多いのかなど、人間の心理に迫る。それぞれの所得に応じた寄付の基準を提案し、世界の貧困解決に向けて一人一人ができることを考える。



この本を
1人の方に
プレゼント
詳細は
38ページへ

ピーター・シンガー 著
勁草書房
2,700円(税込)